

くらしの安らぎと夢を育む予算

西川区長は、2月15日、平成29年度荒川区議会定例会・2月会議の冒頭で、今後の区政運営の方向と平成30年度予算の編成方針・主要施策について、所信を述べました。

【問合せ】 総務企画課 ☎内線2111



▲施政方針を述べる西川区長

平成30年を迎え、改めて平成の歩みを振り返りますと、バブル経済絶頂期に幕を開け、その後、世界金融危機、阪神淡路大震災や東日本大震災などの大災害が次々と起こった激動の時代でありました。

私は区長就任時、このような先を見通すことが難しい混とんとした時代を乗り越えていくには区政の目指す方向性を明確にすべきと考え、「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメイン（事業領域）を掲げました。このドメインを区政運営の基本とし、区民の皆様の暮らしに寄り添い、その声に真摯に耳を傾け、1400を超える事業を実施して参りました。

この荒川区を、将来に渡って安らぎと笑い声にあふれた日々のくらしの上に、区民の皆様一人一人が夢と希望を持って未来を築いていくことのできるまちとするため、今なすべきことは速やかに具体化し、また、未来に向かってしっかりと布石を打っていく必要があります。

2050年には、高齢者1人を1.3人で支える超高齢社会になると予測されています。さらに国立社会保障・人口問題研究所が、「日本の世帯数の将来推計」を発表し、2040年には、高

齢者世帯の40%が一人暮らしとなり、社会的支援がより重要になるといわれています。

私は、このように不安感の増す将来予測が示されている今だからこそ、その課題に迅速かつ確実に対応すると同時に、夢と希望が持て可能性にチャレンジできる地域社会づくりが重要になると考えています。

区民の皆様が、100年ともいわれる人生をより充実して送ることができるまちを目指し、区民の皆様の悩みや要望に真摯に耳を傾け、さらに質の高い行政サービスを提供して参ります。

平成30年度予算は、区民の皆様全世代に渡り、生活の基礎となる健康・福祉や安全・安心の充実、地域で隣人や仲間と暮らしていくためのコミュニティの強化、芸術・文化・スポーツに親しむための環境の整備等を具体化するため、予算化したものです。

私は、これからも区民の皆様の幸福のために、どんな大きい壁であっても乗り越えていくという強い覚悟を持って、課題解決に向けて前進していく決意でございますので、これまで以上のご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。（要旨）

平成30年度予算案

平成30年度の一般会計予算は、995億円であり、区民の健康増進や福祉の充実、子育てや教育環境の整備、産業振興、環境対策、文化振興、防災・防犯、街づくり等、区政の重要課題に積極的かつ効果的に予算を配分しました。

問合せ 財政課 ☎内線2121

各会計の平成30年度予算額

一般会計	995億円
国民健康保険事業特別会計	257億8500万円
後期高齢者医療特別会計	49億1100万円
介護保険事業特別会計	167億2900万円
計	1469億2500万円

区の予算の使いみち

平成30年度の区の一般会計予算の総額を1000円と見なして、分野別に使う金額を示したものです。

民生費	583円	高齢者・障がい者等の福祉や子育て支援のために
総務費	157円	安全・安心や区民施設の運営、文化振興等のために
教育費	81円	学校や幼稚園の運営等のために
土木費	57円	公園や道路の整備、再開発等の街づくりのために
環境清掃費	35円	清掃や環境保護、リサイクル事業等のために
衛生費	33円	区民の皆さんの健康を守ることに等のために
産業経済費	27円	産業や観光の振興、就労支援等のために
議会費	6円	議会の運営等のために
その他	21円	区債や基金の管理等のために

歳入・歳出の内訳

※()内は平成29年度当初予算の構成割合です

